



オオスミ 代表取締役

# 大角 武志氏

—— 昨年の業務動向

は。土壌汚染、アスベスト

対応に伴う調査分析が好調だった。都心はマンションの建築も好調で、ビル立て替えに伴う解体が多く、分析需要も拡大している。横浜駅からみなとみらい地区にかけてもまだまだ新たなビルが建設されている。アスベストの採取実務について、

経験の少ない資格取得者が実技を身につけられるよう体験型の研修事業を行っている。

—— マイクロプラスチック分析は。

環境問題として認識され、分析の依頼が増加している。サンプリングと

前処理の方法を環境省のガイドブックに従い、FTIR（フーリエ変換赤外線分析機器）を使い実

ない。将来はロボットにできる仕事は任せ、人は高度な仕事に就くのが目標だ。既に自動装置とし

は、第三者機関として診ることができるところから、顧客から信頼されて業績が伸びている。特長

は専門家の目で運転、運用面などの細かいことまで調査することで、空調、照明、遮熱など広範囲に助言する。再生可能エネルギー由来の電力会社への切り替えや太陽光発電導入などの提案に加え、例えばエアコ

ンプレッサーを使う工場であれば細かい穴による空気漏れをふさぐ提案をし、また空調機のバルブ

一昨年の冬から稼働し、使用する電力を10%以上の自家発電が可能となった。さらに増築を敷地内

社員や顧客に配布している新聞形式の年刊「イヤブック」は10年を迎える。環境マガジン「ゼロ・クロニクル」も夏まで冬の年2回発行している。発行目的は日本の腕フラスチックやゼロ・ウェイストに貢献することだ。

## 石綿、マイクロプラ分析、省エネ診断が好調

### 広報・環境教育活動に注力

施している。今後も力を入れて行きたい。

—— 働き方改革への取り組みは。

コロナ禍対策で、オンライン会議を推奨、自宅

でBODの分析機、器具洗浄装置、流れ分析装置などを導入している。

—— 分析以外の業務

は。省エネコンサルティン

は専門家の目で運転、運用面などの細かいことまで調査することで、空調、照明、遮熱など広範囲に助言する。再生可能エネルギー由来の電力会社への切り替えや太陽光発電導入などの提案に加え、例えばエアコ

部分の保温など、見逃している無駄を発見し効果

—— 海外事業は。

ベトナムに現地法人を設立して、省エネコンサルティン

で行う。昨秋に着工し、今年秋完成を目指している。目的は2つあり、1つ目は、現社屋が老朽化したので改修し新体制に備えるため、2つ目は、環境に関心のある

一般の方向けに環境教室が開催できる多目的実験

室を建設し、社会貢献活動を行うためである。今後は社屋の見学コースがあるラボにしてゆきたい。

心で、ベトナム国内のロ

分析の認知向上のための環境教育は。環境に興味がある子供も分析方法は知らないの

をいう予定である。—— その他の活動は。毎月1回無料オンラインセミナーを開催し、PCBやアスベスト対策、不動産取引時の環境リスク、化学物質リスク等について行った。テーマはアンケートにより決定し、専門家も招いて行っている。23回目は1月25日に環境法令対策セミナーとして省エネ法・温対法について行う。

環境計量証明書のイメージを体験してもらっている。好評なので、将来環境分析をしたい子供が増える

今後の予定は、4月に当社主催で神奈川県環境に取組む企業、NPQ、個人が参加できる交流の場となるイベントを立ち上げる計画だ。